

## 1) わが国の慢性透析療法の要約

日本透析医学会は1968年より年に1回全国の透析療法施設を対象に統計調査を行っています。2002年末の統計調査は全国の3,625施設を対象に実施され、3,612施設（99.6%）から回答が寄せられました。これらの調査結果を集計した2002年末のわが国の透析療法の現況を報告します。今回の調査においては、新規項目として社会復帰状況、介護保険との関係、透析条件（透析回数、スケジュール、時間、血流量など）について検討しています。

### (1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

施設数		3,612施設	(127施設増)	3.6%増
設備	ペーシェントステーション	89,070台	(5,156台増)	6.1%増
能力	同時透析	88,471人	(5,114人増)	6.1%増
	最大収容能力	288,940人	(18,791人増)	7.0%増

慢性透析患者	229,538人	(10,355人増)
--------	----------	------------

※慢性透析患者の総数は、シート1患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

昼間	180,810人	(78.8%)
夜間	39,756人	(17.3%)
家庭血液	99人	(0.0%)
CAPD	8,569人	(3.7%)
IPD	296人	(0.1%)

導入患者数	33,710人	(467人増)	1.4%増
死亡患者数	20,614人	(764人増)	3.8%増

	男	女	不詳	計
5年未満透析患者数	70,321	42,700	54	113,075 (51.4%)
5年以上10年未満透析患者数	32,030	21,727	9	53,766 (24.4%)
10年以上15年未満透析患者数	14,401	10,967	8	25,376 (11.5%)
15年以上20年未満透析患者数	7,839	6,367	0	14,206 (6.5%)
20年以上25年未満透析患者数	4,899	3,866	0	8,765 (4.0%)
25年以上透析患者数	3,025	1,982	1	5,008 (2.3%)

※透析歴別患者数は調査シートⅡ～Ⅳの記入から算出

人口100万対比	1,801.2人 (79.3人増)
----------	-------------------

最長透析歴	36年8ヵ月
-------	--------

### 解説

#### わが国の慢性透析療法の現況

今回の調査により回答施設数は3,612施設となり前年度より127施設（3.6%）増加し、設備・能力もそれに伴って増加しています。患者数の増加に対処するための必然の結果です。

ペーシェントステーションは89,070台であり、これは5,156台（6.1%）増加となりました。この結果、同時透析は88,471人（5,114人、6.1%）の増加となり、最大収容能力288,940人（18,791人、7.0%）増加となりました。